

はたっこ

2学期も、東畑中学校区の児童生徒は多くの経験を積み、また地域の方の支えもあって心身ともに大きく成長することができました。

2学期の主な取組を紹介します。

小中合同授業研修会

9月25日：原小学校4年生の授業研究 授業者：谷岡 奈津穂 教諭

算数科「計算の仕方を工夫しよう（式と計算の順じょ）」

いくつかの式を見て、それぞれの式が表す図を探し、なぜそう考えたのかを根拠に、説明する授業でした。式中の数値が図のどこにあたるのか図にかきこんだり、（ ）や×÷等の記号が表す意味を図と言葉を関連させて説明したりすることで、式が表す意味理解を深めることができました。

授業後、研究協議会を3校の教職員で行い、自分の考えを再構築させる「再思考・再表現」のあり方や本時での有効な「個に応じた手立て」について協議しました。呉市教育委員会 学校教育課 重田由子指導主事に「個を大切にする算数の授業づくり」について指導助言をいただきました。



10月29日：東畑中学校1年生の授業研究 授業者：神原 真美 教諭

国語科「登場人物の決断に迫る 『平家物語』『敦盛の最期』（三省堂）」

「平家物語」「敦盛の最期」（三省堂）を学習し、登場人物の言動や情景をもとに、登場人物の気持ちの変化を読み取りました。その上で並行読書を行い他の作品についても「敦盛の最期」と同じ視点で読み取り、グループで意見交流をする中で自分の考えを深めていきました。

授業後、広島大学名誉教授田中宏幸先生からご講演をいただきました。田中先生は、「ファシリテーター」としての教師の役割の必要性を説かれ、そのために、児童生徒の深い学びを促す「本質的な問い」に重きを置くことの大切さを、例を挙げながら教えて下さいました。また、本時の授業で活用した意見交流のためのワークシートを踏まえ、思考を促すために「書くこと」がいかに重要かということを丁寧に教えて下さいました。この紙面では書ききれませんが、明日からの授業で意識し活用できる心に残るご指導をたくさんいただきました。



あいさつ運動

(11月13日原小学校, 11月14日明立小学校にて)

「生活づくり週間に伴うあいさつ運動」

毎日気持ちよく生活したり学習に集中したりするために、①夜は決められた時刻までに寝ること、②朝は7時までに起きること、③朝ご飯をしっかり食べること、④歯磨きをすること、⑤就寝の1時間前にはメディアをやめることを習慣付けていこうと、中学生と小学生が一緒になって、登校時にみんなに呼びかけました。

また、いじめ撲滅を目指し、中学校の生徒会と小学校代表児童(企画委員会・児童委員会等)が参加し、みんなで仲良く気持ちのよい学校生活をつくっていこうと、あいさつを通して呼びかけました。



東畑中学校区 地域クリーン活動

11月11日(月)に、東畑中学校・原小学校・明立小学校の子供たちが一緒になって地域清掃を行いました。活動の前には「公園からごみを無くす。」「ほかの学年とたくさん関わる。」「自分や友達のよいところを10個見つける。」等、自分の学年や役割に応じた目標を設定し、主体的に活動に参加しました。また、清掃後にはレクリエーションを楽しみました。



1年生がとても積極的に落ち葉を拾ったり掃除をしたりしていた。他学年の人と交流し、その人の良さや自分の良さを見つけることができた。(原小6年)

小学生がクリーン活動をすごく頑張っていました。また、中学生は小学生の手伝いもしていて、よいお手本になっていたと思いました。これからも地域をきれいにしていきたいです。(東畑中3年)

ねっこを出すようにひっぱった。ガラスとくさをよく見てたしかめながら拾った。(原小1年)

落ち葉やゴミがあまりなかったが、隅っこの落ち葉も見逃さず取ってきれいにすることができました。地域の人達がきれいにしてくれていると思い、感謝したいです。(東畑中2年)

中学生さんとそうじや遊びをして、なかがふかまったと思います。たくさんの草をぬいたり落ち葉を集めたりするのをがんばりました。(明立小4年)

そうじした後、すごくいい気持ちになりました。地域の方はそれを何回もやっていてすごいなと思いました。今日だけでなく、また休日にもやってみようと思いました。(明立小5年)

